

評価報告

白山市は、構造改革特別区域法第12条第5項の規定に基づき、美川特区アットマーク国際高等学校の教育活動、教育内容並びに学校運営について検証し、次のとおり令和6年度の評価を行ったので報告します。

○ 教育活動

(教育課程)

- ・ 学習指導要領の趣旨を踏まえた教育がなされるとともに、一人ひとりの「学ぶ目的」の実現に向けた努力がなされており、今後も継続することを求める。
- ・ 教育課程については、生徒・地域のニーズに応え、必要に応じて内容の精査及び見直しを行い、柔軟に対応していくことを求める。
- ・ 昨年11月に開催したアットマークフェス（アトマフェス）は、今年度は令和7年2月の開催を予定しており、昨年同様、学習活動の発表や家族で楽しめるイベントを企画している。今後アトマフェスの開催が恒例となり、美川はもとより白山市民とのコミュニケーションの場になれば、と期待する。

(学習指導)

- ・ 進路指導において、毎年、国公立大学並びに有名私立大学の合格者を輩出しており、一部には海外の学校への進学も見受けられる。今後も生徒の学習意欲向上のため、個別の進路指導をより充実させ、生徒個々の個性を伸ばす指導を求める。
- ・ 美川地域で商工会の協力のもとに開催した学生の視察研修のような企画を今後は白山市全域に広げ、その活動の様子を発信することにより学生の獲得につながれば、と期待する。

(面接等の指導)

- ・ アットマーク国際高等学校には、様々な事情により問題を抱えた生徒がいるため、指導にあたっては注意が必要である。「自立学習スタイル醸成の場」「ネットワーク学習のサポートの場」「ネットワークの正しい活用法指導の場」として各地で新たな学習センター（サポート施設）の開設は生徒獲得に反映されると期待する。
- ・ 各生徒の能力・個性に応じた指導を展開し、傾聴と承認に一層努めて欲しい。
- ・ 美川地域の観光、産業さらにユネスコ世界ジオパークに認定された「白山手取川ジオパーク」を活用すると同時に、身近な地域とのつながりを築くことを今後も継続してほしい。山岳地域から海洋までの大きな自然環境、そして地域の住民とのコミュニケーションを取りながら自分たちで考えた課題に取り組み、成果を地域に発表するという学習は、充実した学校生活を広くアピールできると思う。

- ・広域通信制高校として、生徒の健康管理については難しいことであるが、スクーリング時に生徒を対象とした健康診断を行い、健康の管理に努めていることは重要なことである。

○ 組織及び管理運営

- ・財務状況は諸物価の上昇する中で、開校以来学費の値上げは行なわずにコスト削減、業務の効率化に取り組んできたが、自助努力の限界を迎えてきている状況であるため、令和7年度の学費の値上げにより生徒増加に耐えうる社内資源の充実を確実にする構造改革を継続し、その上で、継続的・安定的な学校運営に努めることを求める。
- ・生徒数は着実に増加しているが、今後も生徒をいかに確保するかが課題である。各地のサポート校では順調な教育活動により、年度途中の転入生は増加している。
- ・個人情報については取扱いに十分注意し、厳重に管理することを求める。
- ・学校の安全については、日々点検を怠ることのないよう注意し、地震等の不測の事態が生じても対処できる体制の確立及び教職員の教育を進めていくことを望む。
- ・新型コロナウイルス（5類感染症移行）やインフルエンザ等の感染防止対策の継続を今後も徹底する。

○ 施設及び設備

- ・開校以来、白山市立美川中学校を本校としている状況は、現在でも変わらない状況であるが、令和6年7月に美川学習センターの開所を機会に、白山市内における本校舎施設の建設若しくは賃貸を検討することを引き続き求める。夏期・冬期のスクーリングやイベントについても、白山市内の既存施設や地域住民とのコミュニケーションをとりながら、白山市に足場を固めて新たな取り組みを今後も求める。